

接続コードMC-17、17S  
Connecting Cord MC-17/MC-17S

図1  
Fig. 1

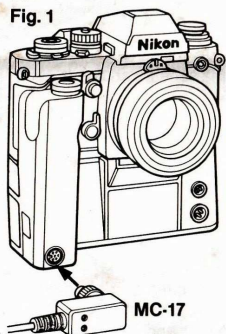


図2  
Fig. 2

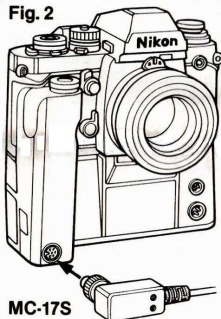


図3  
Fig. 3

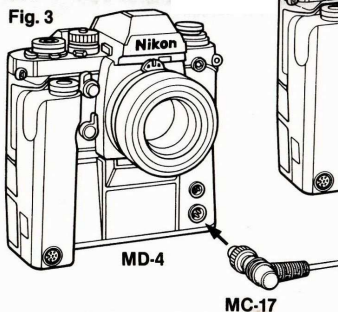


図4  
Fig. 4

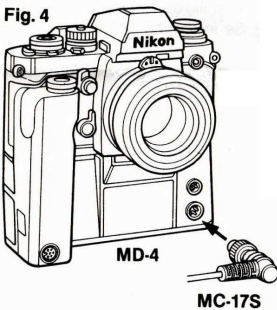


図5  
Fig. 5

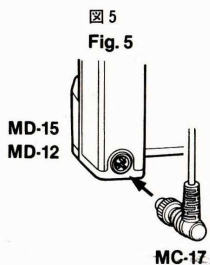
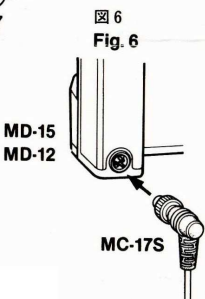


図6  
Fig. 6



Printed in Japan (84.6.E) &-2

接続コードMC-17、17S

はじめに

MC-17、17Sは2組のモータードライブMD-4付きF3シリーズカメラ、またはMD-4付きF3シリーズカメラとモータードライブMD-15付きFA等との各1組の組み合わせで接続して、1台のモータードライブのレリーズ操作で2台のカメラをほとんど同時にレリーズさせるためのコードです。MC-17とMC-17Sとは、コードの長さおよびモータードライブに接続したときのプラグの向きが異なります。MC-17の長さは約3m、MC-17Sの長さは約0.4mです。

使用可能なモータードライブ

本品で接続される2台のモータードライブはコードの接続法により、レリーズ操作する側と従動する側という役割が定まります。使用可能なモータードライブは下表のとおりです。

レリーズ操作する側のモータードライブ	従動する側のモータードライブ
MD-4(F3シリーズカメラ用)	MD-4 (F3シリーズカメラ用) MD-15(FA用) MD-12(FA・FE2・New FM2・FM2・FE・FM用)

使い方

- 1) MC-17・17Sの7ピンの端子があるプラグをレリーズ操作する側のモータードライブMD-4のフィルムバック用ターミナルに接続します。プラグは正しく位置決めして差し込み、固定ねじを確実に締めつけてください。MC-17とMC-17Sとは取りつける際のプラグの向きが異なりますのでご注意ください。(図1・図2)
- 2) MC-17・17Sの2ピンの端子があるプラグを従動する側のモータードライブのリモートターミナルに接続します。プラグは正しく位置決めして差し込み、固定ねじを確実に締めつけてください。MC-17とMC-17SおよびMD-4とMD-15・12とは取りつける際のプラグの向きが異なりますのでご注意ください。(図3・図4・図5・図6)
- 3) レリーズ操作は、レリーズ操作する側のモータードライブMD-4のシャッターボタンで行います。  
1コマ撮影、連続撮影の設定はレリーズ操作する側のモータードライブ、する側のモータードライブにてそれぞれ行い、設定されたモード(SまたはC)で作動します。

使用上のご注意

- レリーズ操作する側のモータードライブMD-4をリモートコードやラジオコントロールセット等で遠隔操作しても従動する側のモータードライブは作動しません。また、従動する側のモータードライブをレリーズ操作してもレリーズ操作する側のモータードライブMD-4は作動しません。
- MC-17・17Sを用いて3台以上のモータードライブを作動させることはできません。
- レリーズ操作する側のモータードライブと従動する側のモータードライブとは完全には同時作動しません。従動する側のモータードライブが最大で約80m sec遅れて作動します。
- レリーズ操作する側のモータードライブMD-4にプラグを接続しておくと、わずかながら消費電流を消費しますので、長く使用しない場合はプラグをはずしておいてください。
- レリーズ操作する側のモータードライブMD-4のシャッターボタンを半押しして、カメラボディの露出計スイッチを「ON」にしても、従動する側のモータードライブの露出計スイッチは「ON」になりません。ただし、従動する側のモータードライブにMD-12を使用する場合は、MD-12の電源スイッチを「ON」にすると露出計スイッチも「ON」の状態になります。